可能性を引き出す

　彼は、学校でも評判の出来の悪い子どもだった。教師たちは、とうに彼に勉強を教えるのをあきらめ、とうとう、ある日、校長先生が両親に言った。「このままでは、息子さんは将来、ろくな大人になれないでしょう」
　それを聞いた父親は息子を叱ったが、母親は違っていた。息子の才能に気づかない無能な教師たちに激怒し、ただちに息子を退学させると、自ら勉強を教えはじめた。
　やだて、彼、トーマス・エジソンは、世界の発明王として、いまもその名をとどろかすことになる。
　自分の可能性を信じる人を前にして、その期待に応えたいと願わない人は少ない。たとえ時間がかかったとしても、あなたが可能性を信じていれば、その思いは、いつかは相手に伝わる。そしてそれが、その人が自分で自分の可能性に気づいていく力になる。

　もし、あなたが誰かの能力をもっと引き出していきたいと思うなら、そのためにあなたがまず行うべきは、その人の可能性を信じることである。そして、その可能性に向けて働きかけることだ。あなたがあなた自身の可能性を信じていくように。
　それは、あなたにとっても、自分のさらに新しい可能性を引き出していく過程となるだろう。

エジソンと彼を信じた母親の逸話を紹介させていただきました。いつの時代も「わが子の才能、可能性」を信じてあげてる事がもっとも大切ですね。
きっとお子様にとってそのことが一番の希望と無限の可能性の扉になる事と信じます。

理事長